

CEOメッセージ

本年6月に新経営体制をスタートしました。CEO(最高経営責任者)とCOO(最高執行責任者)を新設し、代表取締役社長兼COOにはエラストマー事業、合成樹脂事業、デジタルソリューション事業を統括するとともに、特に日本での運営を担ってまいります。年初には、グローバルでのライフサイエンス事業と米国での半導体材料事業を統括するJSR North America Holdings, Inc.を設立しました。JSRグループの売り上げは年間約5,000億円で、その約6割が海外売り上げとなっています。また、従業員は2018年度末で約9,000名となりましたが、その3分の1が日本国外に在籍し、有形固定資産についてはすでに半分が日本国外にあるという状況です。グループ企業においては、2008年度末の34社から2018年度末には61社に増加し、こちらも3分の2が海外にあります。当社の基盤が日本にあることは確かですが、持続的な成長のためには、本格的なグローバル体制構築の必要が出てきました。

このような状況の中、代表取締役CEOに就任しました。初めての米国人トップとなりますが、既に入社から18年が経過し、これまで主に半導体材料事業とライフサイエンス事業に関わってきました。



CEOメッセージ

JSRグループでは数年前から、世の中の様々な問題や課題の中で「地球温暖化」、「人口・水・食糧問題」、「新興国の経済成長」、「デジタル化」を4つのマクロトレンドと捉えて事業活動を行ってきました。これらのトレンドは、社会に影響を及ぼすだけでなく、当社のエラストマー事業・合成樹脂事業・デジタルソリューション事業・ライフサイエンス事業が、マテリアルを通じてどのように価値を創造するのかということにも影響します。JSRグループは、好奇心・寛容さ・適応力に基づく文化を今後も発展させていきます。変化は避けられず、挑戦や絶え間なく進化する環境から生み出される機会を進んで受け入れていく必要があります。また、責任ある企業市民であるためには、単に経営の知見だけではなく、企業としてのありたい姿に不可欠なコアバリュー（基本的価値観）を示す必要があると考えています。

中期経営計画「JSR20i9」では、対象期間である2018年3月期(2017年度)から2020年3月期(2019年度)までの3か年を、2020年のあるべき姿に向けた持続的変革を図る第三段階にあたる「未来に向けた競争力強化」の期間と位置づけ、2020年代に向け継続的な変革を実施していきます。「JSR20i9」の2年目となる2019年3月期(2018年度)は、中期経営計画の最終の収益目標を前期に続き達成することができました。

エラストマー事業は、グローバルに需要が高まる低燃費タイヤなどの高機能タイヤ用溶液重合SBR(SSBR)を供給するタイの合弁会社JSR BST Elastomer Co., Ltd.が、第1期設備に加えて第2期設備も順調に稼働してフル稼働に近づいています。さらなる需要拡大に対応するため、ハンガリーに設立した合弁会社JSR MOL Synthetic Rubber Ltd.は2019年度に立ち上げを予定しています。

合成樹脂事業は、UMG ABS株式会社との統合会社テクノUMG株式会社において、製造効率・コスト競争力を向上し、差別化製品の品揃えを増やし、海外における特殊品の販売を拡大することにより、事業統合による競争力強化と事業拡大をさらに図っていきます。

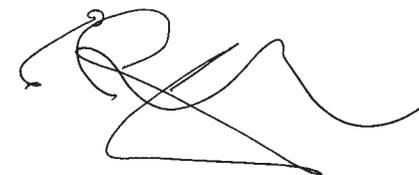
半導体材料事業は、最先端リソグラフィ材料である7-10nm(ナノメートル)世代プロセスでのグローバルな競争力を維持していきます。また、実装材料・CMP材料(スラリー・機能性洗浄剤)などの周辺材料の販売を拡大しています。

ディスプレイ材料事業は、大型液晶パネル向けに、特に成長が見込まれる中国市場において、競争力のある配向膜・絶縁膜を中心に販売の拡大を進めていきます。

ライフサイエンス事業では、KBI Biopharma, Inc.、株式会社医学生物学研究所、Selexis SAに加え、2018年5月には臨床試験前段階において創薬支援サービスを提供しているCrown Bioscience Internationalを完全子会社化しました。これにより主に抗体医薬品の創薬から製造まで一貫したプロセス支援ができる体制を構築いたしました。グループ企業のシナジー創出を進め事業の拡大を進めていきます。

次世代研究として、慶應義塾大学医学部および大学病院との共同研究施設であるJSR・慶應義塾大学医学化学イノベーションセンター(JKIC)を2017年10月に開所し、新たな医療分野の展開を支える革新的材料・製品開発を進めています。また、2021年に川崎市殿町地区に次世代研究を司る新研究棟を開発予定です。これらにより将来的な事業拡大につなげていきます。

最後に、当社グループの差別化の要因は、多文化主義であり、多様化を進める優れた取り組みだと信じています。世界中から優秀な人材が集い、ここ数十年間重要な海外投資を行ってきた結果、現在ではJSRの資産と利益の半分が日本国外という状況です。JSRは単に海外で競争する日本企業ではありません。真のグローバル企業として、日本に加え、世界中で覚悟と自信をもって競争し、一目置かれる企業として高め続けること、そして、多彩な人材や資産によって支えられる真のグローバル企業として成功を収めるために全力を尽くします。



エリック ジョンソン

代表取締役CEO